

個人投資家向け会社説明会

株式会社ミマキエンジニアリング

2014年3月6日

JFX200-2513



UJF-6042



TS500-1800



Mimaki®
株式会社 ミマキエンジニアリング

証券コード: 6638



❖ ミマキエンジニアリングご紹介

❖ 第39期(14/3月期)3Qレビュー、
〃 連結業績予想

❖ 中期戦略

❖ ご参考資料

プロフィール

Mimaki®

設立	1975年8月
資本金	2,015百万円
連結売上高	31,090百万円（2013年3月期、うち海外売上高構成比 69.6%）
本社	長野県東御市滋野乙2182-3
代表者	代表取締役会長 池田 明 代表取締役社長 小林 久之
従業員数	連結：1,172名 / 単体：601名 * 2013年12月末現在
グループ会社 （計15社）	・ 販売関連：9社 欧州：ミマキEUROPE(オランダ)、ミマキドイツ 北米、中南米：ミマキUSA、ミマキブラジル アジア・オセアニア：上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド ・ 開発、製造関連：5社 国内：(株)ミマキプレシジョン、(株)ウィズテック 中国：浙江御牧、平湖御牧 台湾：台湾御牧 ・ プリントサービス関連：1社 国内：(株)グラフィッククリエーション
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場（スタンダード） / 証券コード 6638
発行済株式総数	13,920,000株（単元株＝100株） * 2013年12月末現在

長野県東御市



1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「**開発型企业**」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する**小回りの利いた会社**を目指します。

3

市場に常に「**新しさと違い**」を提供する**イノベーター**を目指します。

4

各人が持っている**個性・能力**を**力一杯発揮**できる**企業風土**を目指します。

当社の事業内容

Mimaki®

■ ミマキエンジニアリングは、

業務用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う**開発型企业**です。

■ 業務用インクジェットプリンタとは、

大きさ

- **3.2メートル**幅のロールにプリントできます。
- **四畳半**の広さの板にプリントできます。

何に

- **プラスチック、ガラス、木、布**等に直接プリントできます。

従来

- 従来必要だった版が不要。**イニシャル費用と納期**を大幅削減
- デジタルオンデマンド生産により、クイックレスポンス⇒在庫削減

価格

- 100万円台から**1,500万円**ぐらいまで多様。

結局

- デザインと小ロット対応により100円のモノが500円、2,000円にも高く売ることができます。**付加価値を生み出す**プリンタです。



SWJ-320S
最大プリント幅
=3.2M



JFX500-2131
最大プリントサイズ
=2.1M×3.1M

3つの販売市場

Sign Graphics (SG/サイングラフィックス)

広告看板、ウィンドウグラフィックス、カーラッピングなど街を彩るビジネスで活躍している**当社の主力製品群**で、業界におけるインクジェットの速さと美しさの基準を提案しています。



Industrial Products (IP/インダストリアルプロダクツ)

金属、木材、プラスチックなど多種多様な素材にプリントできるUV硬化インクの特性を活かし、ギフトやノベルティ、**工業製品等の製造現場で活躍している製品群**です。



Textiles & Apparel (TA/テキスタイル&アパレル)

縫製前の生地(テキスタイル)やTシャツ等の既製服(アパレル)など布地にプリントでき、版不要だからこそ可能な小ロット多品種生産で**新たな捺染ビジネスを切り開く製品群**です。



38期(13/3)
売上比率

SG

59.7%

IP

23.5%

TA

8.3%

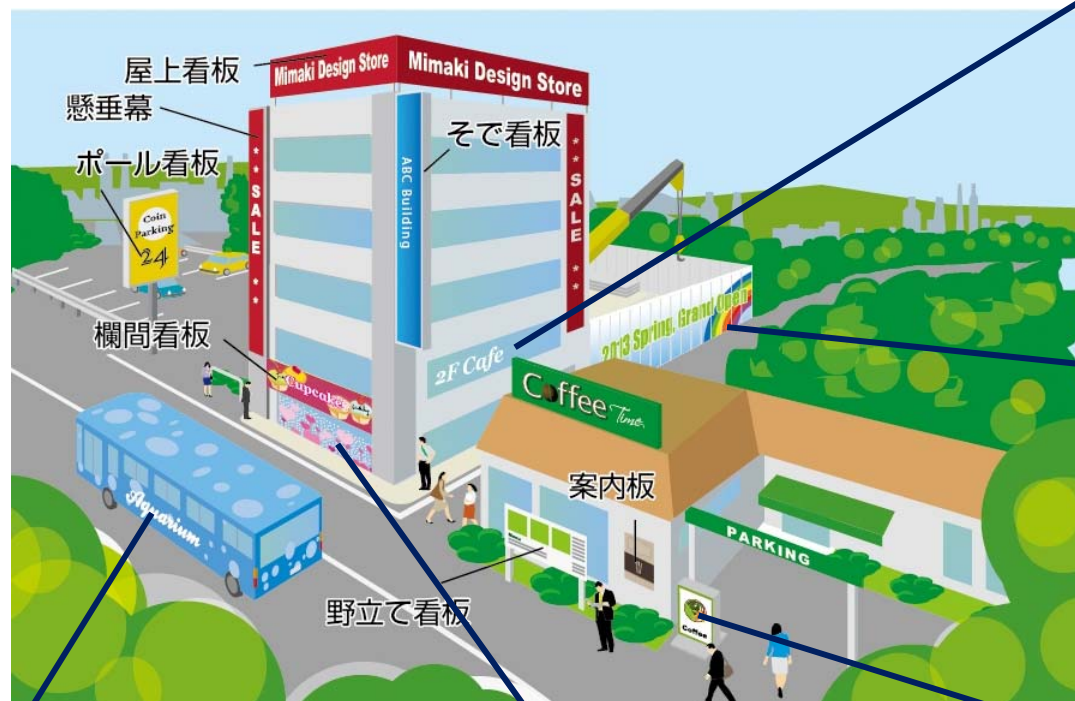
保守部品ほか

8.5%

街を彩る屋外サイン

インクジェットプリンタを使ったサイン

カッティングプロッタを使ったサイン



切り文字



仮囲い



車両ラッピング



ウィンドウグラフィックス



スタンド看板

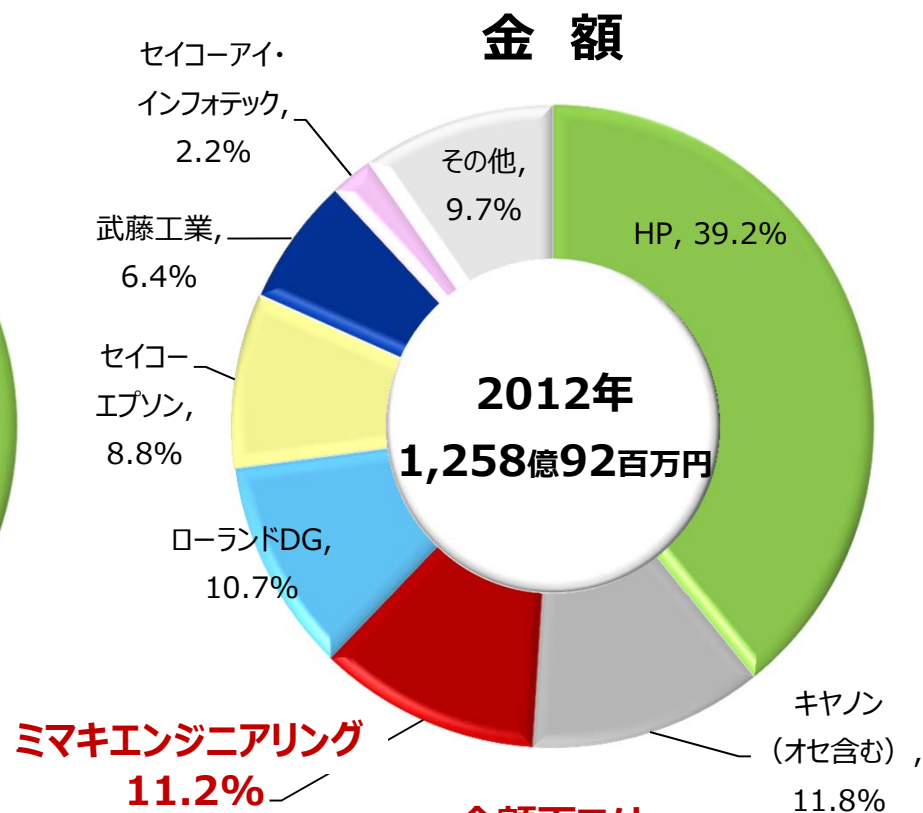
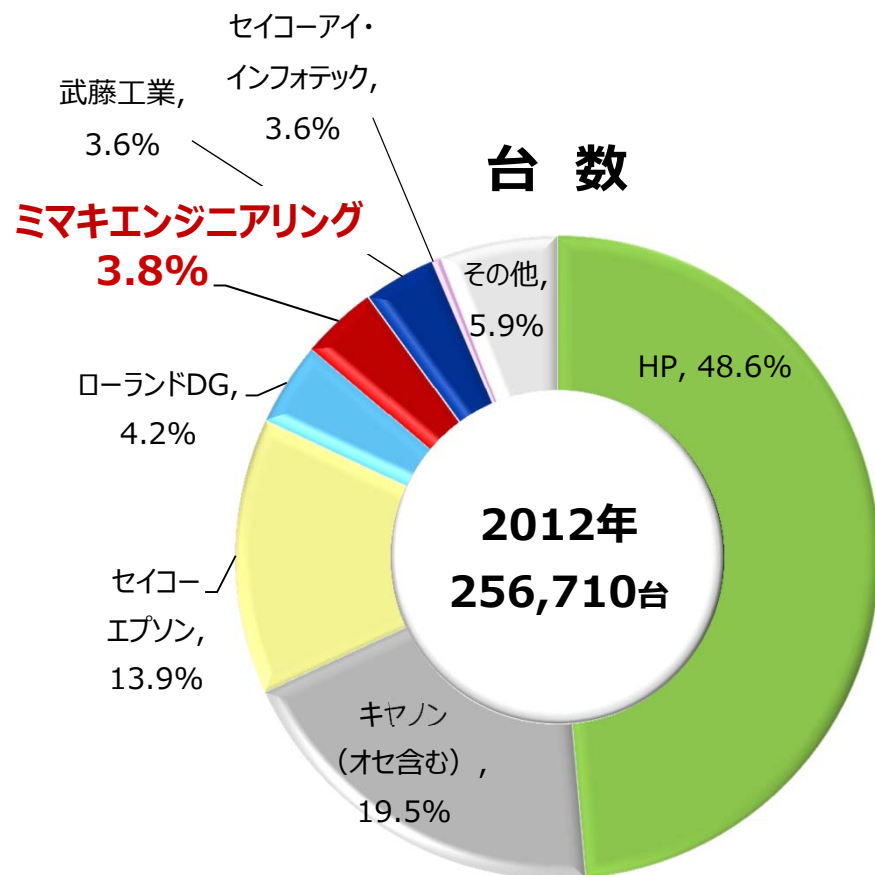


グローバル市場における当社シェア

Mimaki®

大判インクジェットプリンタの世界市場

出所：2013プリンタ市場の全貌（中日社）
※ 屋内用途や校正用途の水性インクジェットプリンタを含む



金額面では
世界第3位

❖ ミマキエンジニアリングご紹介

❖ 第39期(14/3月期)3Qレビュー、
〃 連結業績予想

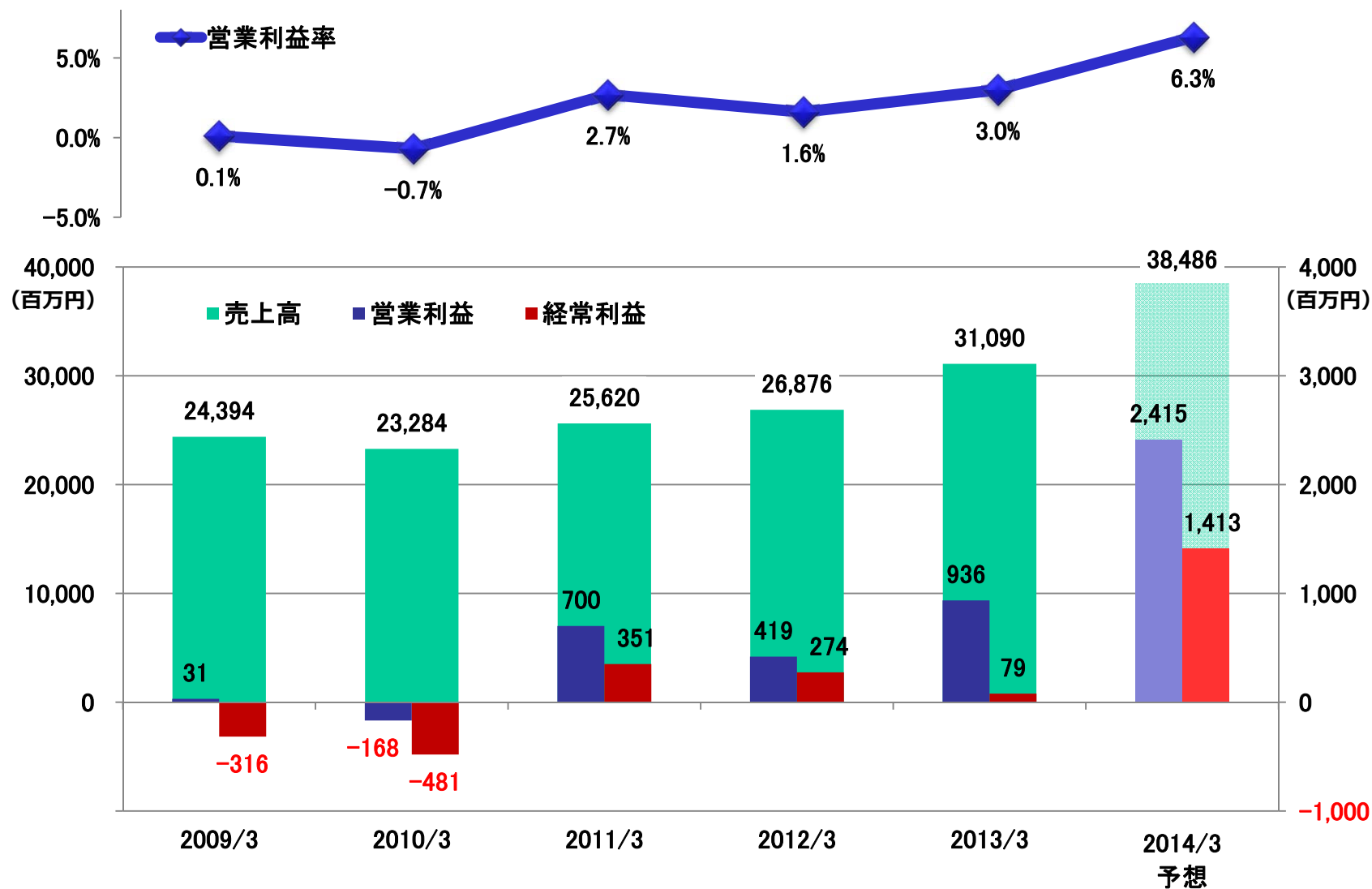
❖ 中期戦略

❖ ご参考資料

連結業績推移

【2014年3月期予想】

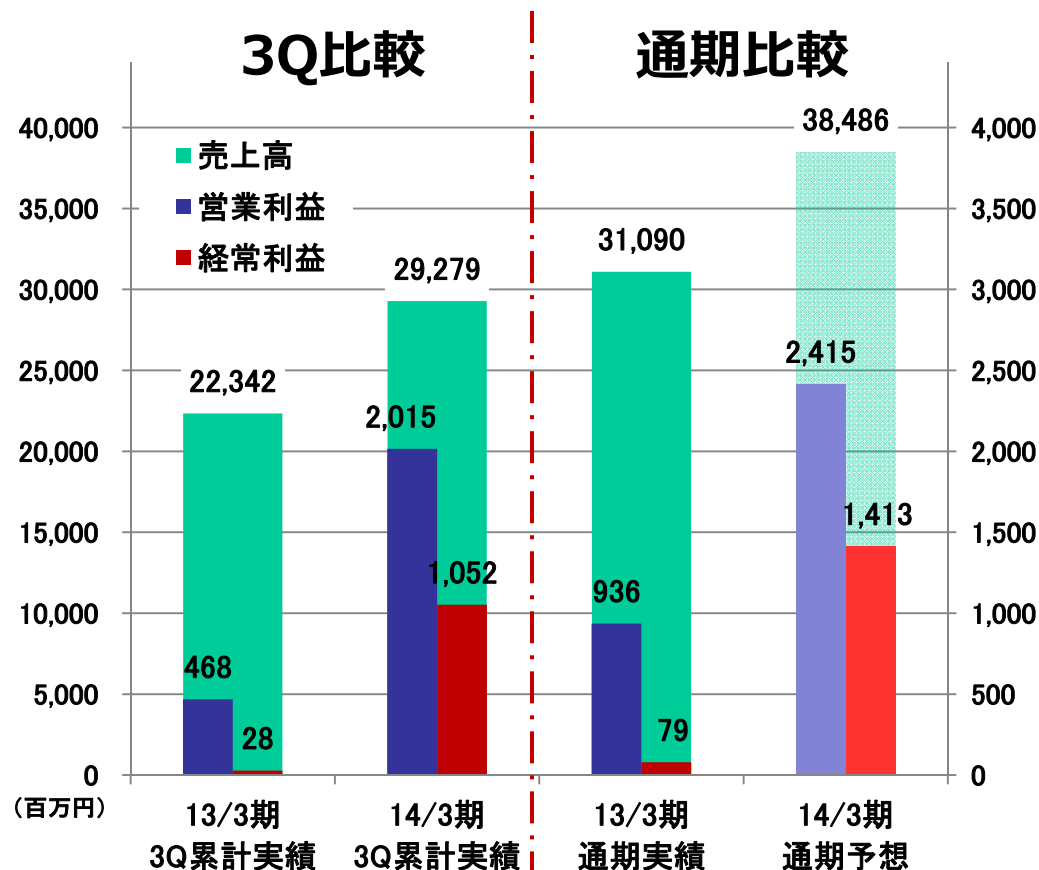
売上高 38,486百万円
営業利益 2,415百万円



3Q累計実績／通期予想（前年同期比）

Mimaki®

連結 (百万円)	第3四半期累計(実績)					通 期(予 想)				
	13/3期	売上比	14/3期	売上比	増減率	13/3期	売上比	14/3期	売上比	増減率
売上高	22,342	—	29,279	—	31.0%	31,090	—	38,486	—	23.8%
営業利益	468	2.1%	2,015	6.9%	330.3%	936	3.0%	2,415	6.3%	157.8%
経常利益	28	0.1%	1,052	3.6%	3565%	79	0.3%	1,413	3.7%	1673%
当期純利益	△ 82	—	569	1.9%	—	132	0.4%	759	2.0%	471.6%



主要通貨
レート

	13/3期	14/3期	為替感応度
米ドル	83.11	96.93	26百万円
ユーロ	107.15	127.51	74百万円

為替レートが1円変動することによる↑
営業利益への年間影響額

売上高

- ・昨年度に発売した500シリーズ等新製品の販売増を見込む
- ・製品本体の販売増に伴い、インク等の消耗品売上も増加見込み

営業利益

- ・生産・調達のグローバル化によるコストダウンと在庫管理強化を推進
- ・新製品販売の早期立ち上げと、グローバル展開のため販売費の増加を見込む

経常利益

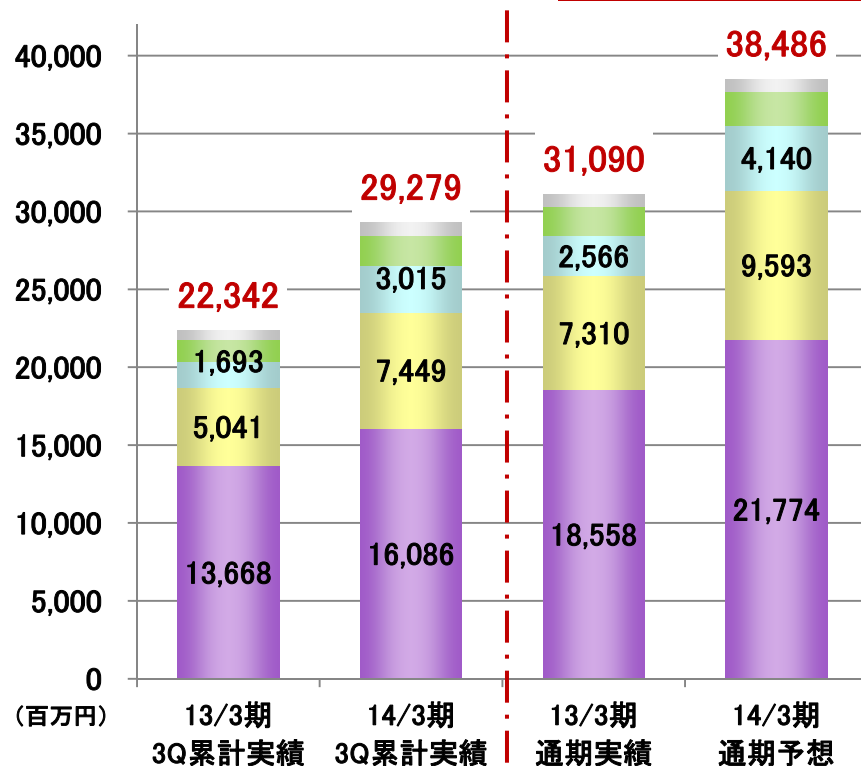
- ・1Qでの為替予約、2Q以降の新興国通貨の下落による為替差損を計上するものの、大幅な増加見込み

機種群別売上高

3Q累計実績／通期予想
(前年同期比)

Mimaki®

連結 (百万円)	第3四半期累計(実績)					通 期 (予 想)				
	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率
SG市場向け	13,668	61.2%	16,086	54.9%	17.7%	18,558	59.7%	21,774	56.6%	17.3%
IP市場向け	5,041	22.5%	7,449	25.4%	47.7%	7,310	23.5%	9,593	24.9%	31.2%
TA市場向け	1,693	7.6%	3,015	10.3%	78.0%	2,566	8.3%	4,140	10.8%	61.3%
保守部品	1,359	6.1%	1,886	6.5%	38.7%	1,881	6.0%	2,211	5.7%	17.5%
その他	578	2.6%	841	2.9%	45.6%	772	2.5%	766	2.0%	△0.8%
合 計	22,342	100.0%	29,279	100.0%	31.0%	31,090	100.0%	38,486	100.0%	23.8%



SG市場向け

- ・主力既存エントリー機のJV33シリーズが先進国＆新興国での販路拡大に伴い、底堅く販売台数を伸ばして売上に貢献
- ・新興国市場向けのSWJ-320の拡販強化

IP市場向け

- ・UJF-6042、JFX500で品揃え拡充、用途別多展開を強化
- ・大型サイズのエントリー機のJFX200が売上増加に貢献

TA市場向け

- ・昇華プリンタが、ファストファッションを中心に衣料品で伸長
- ・高速機500シリーズの本格販売で、中量生産以上の市場への拡販強化、インク販売を中心としたアフタービジネス拡大

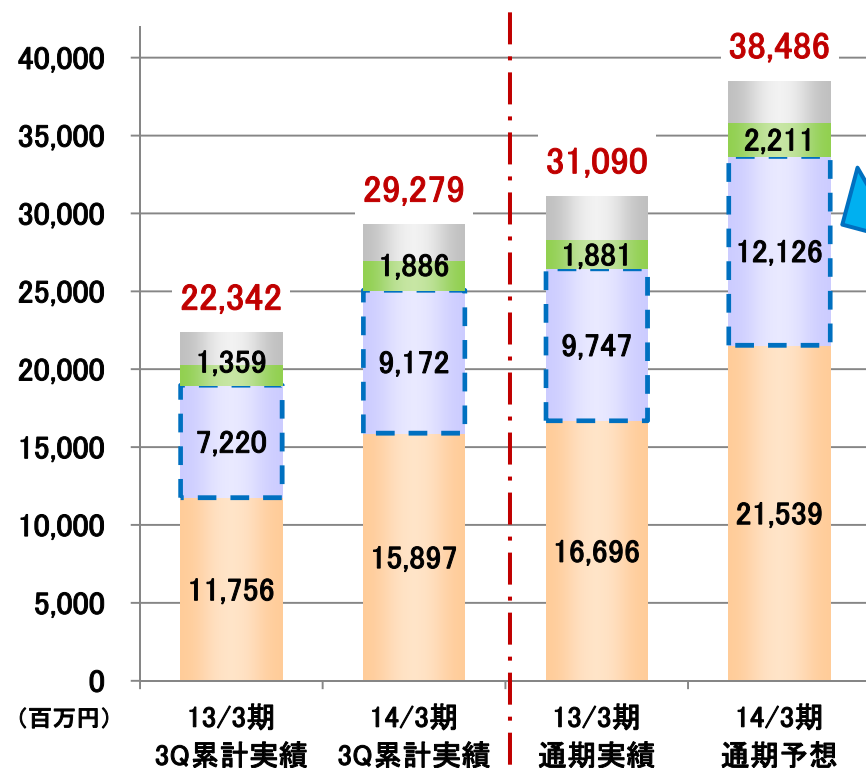


品目別売上高

3Q累計実績／通期予想
(前年同期比)

Mimaki®

連結 (百万円)	第3四半期累計(実績)					通 期(予 想)				
	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率
製 品 本 体	11,756	52.6%	15,897	54.3%	35.2%	16,696	53.7%	21,539	56.0%	29.0%
イ ン ク	7,220	32.3%	9,172	31.3%	27.0%	9,747	31.4%	12,126	31.5%	24.4%
保 守 部 品	1,359	6.1%	1,886	6.5%	38.7%	1,881	6.0%	2,211	5.7%	17.5%
そ の 他	2,005	9.0%	2,322	7.9%	15.8%	2,764	8.9%	2,608	6.8%	△5.6%
合 計	22,342	100.0%	29,279	100.0%	31.0%	31,090	100.0%	38,486	100.0%	23.8%



インク売上比率 30%以上

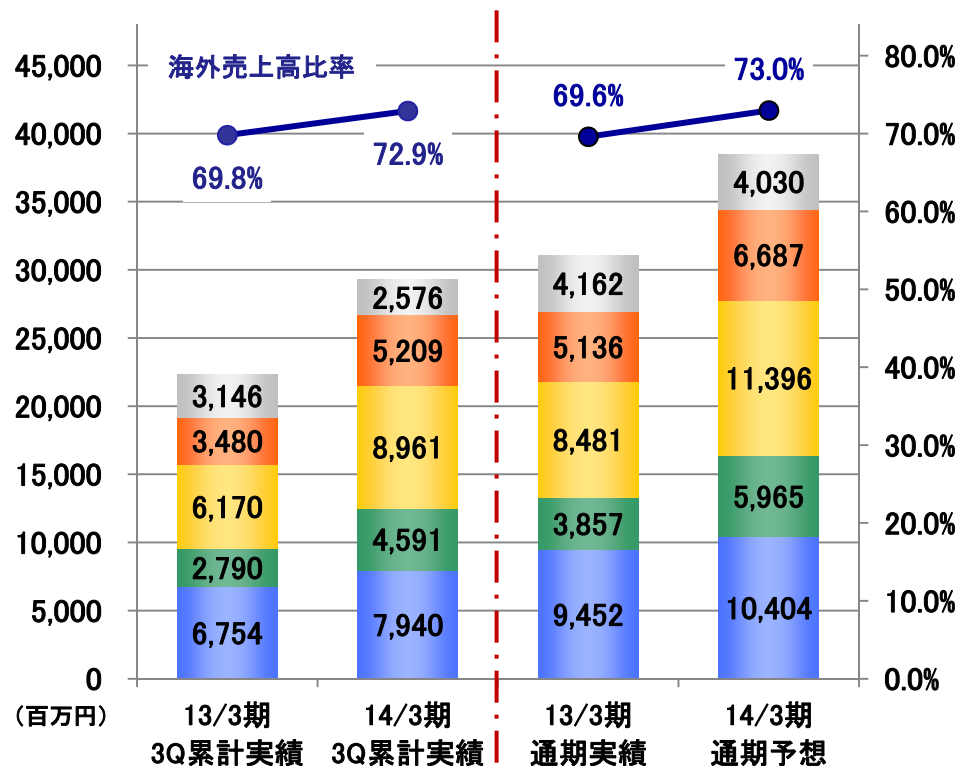
製品本体 インク 保守部品 その他

エリア別売上高

3Q累計実績／通期予想
(前年同期比)

Mimaki®

連結 (百万円)	第3四半期(実績)					通 期(予 想)				
	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率	13/3期	構成比	14/3期	構成比	増減率
日 本	6,754	30.2%	7,940	27.1%	17.6%	9,452	30.4%	10,404	27.0%	10.1%
北 米	2,790	12.5%	4,591	15.7%	64.5%	3,857	12.4%	5,965	15.5%	54.7%
欧 州	6,170	27.6%	8,961	30.6%	45.2%	8,481	27.3%	11,396	29.6%	34.4%
アジア・オセアニア	3,480	15.6%	5,209	17.8%	49.7%	5,136	16.5%	6,687	17.4%	30.2%
そ の 他	3,146	14.1%	2,576	8.8%	△18.1%	4,162	13.4%	4,030	10.5%	△3.2%
合 計	22,342	100.0%	29,279	100.0%	31.0%	31,090	100.0%	38,486	100.0%	23.8%



日 本

- ・ゆるやかな景気回復で堅調増加&消費増税前の駆け込み需要

北 米

- ・販売拠点の増設による地域密着型営業の強化

欧 州

欧州内でのファスト・ファッションブランドで昇華プリンタが採用され、TA市場向け売上が伸長

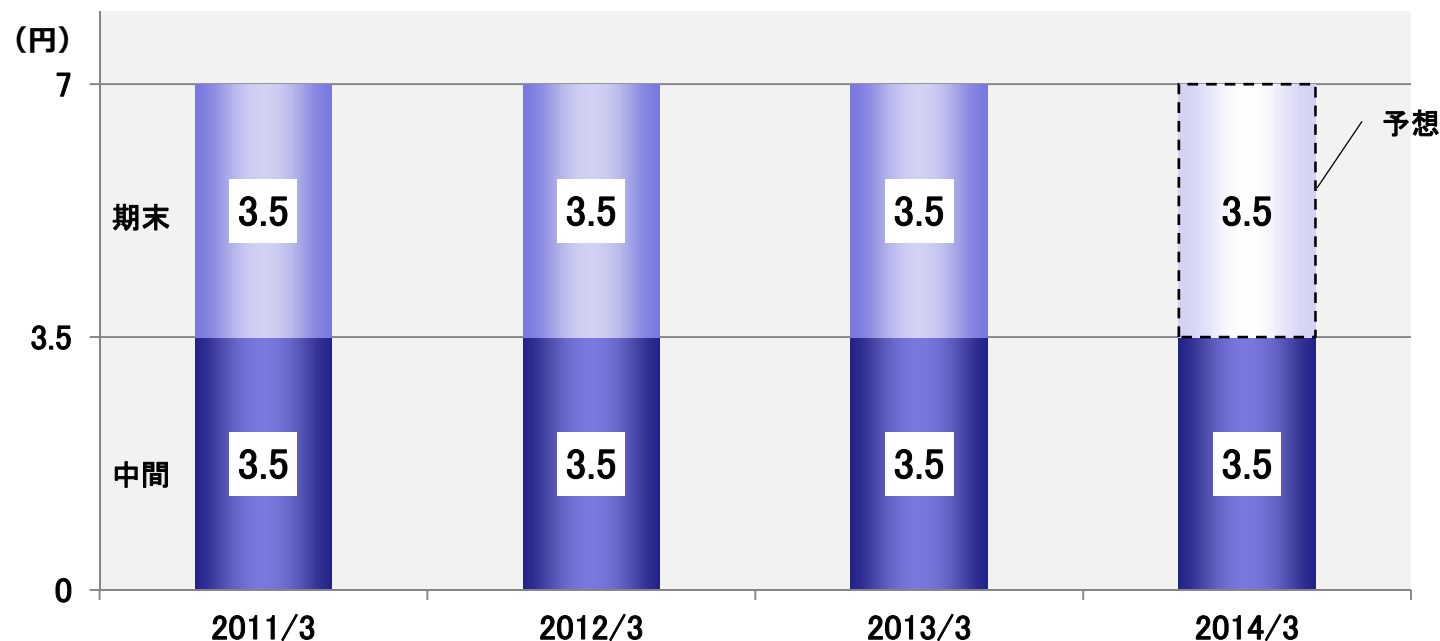
アジア・オセアニア、その他

- ・中国での売上が大幅増加（特にSG市場向けで）
- ・その他新興国においても、SG、IP市場向けを中心に堅調に推移

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州
■ アジア・オセアニア ■ その他

配当予想

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



(注) 2012年4月1日付で1 : 200の株式分割をしております。

上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、株式分割を考慮して表記しております。

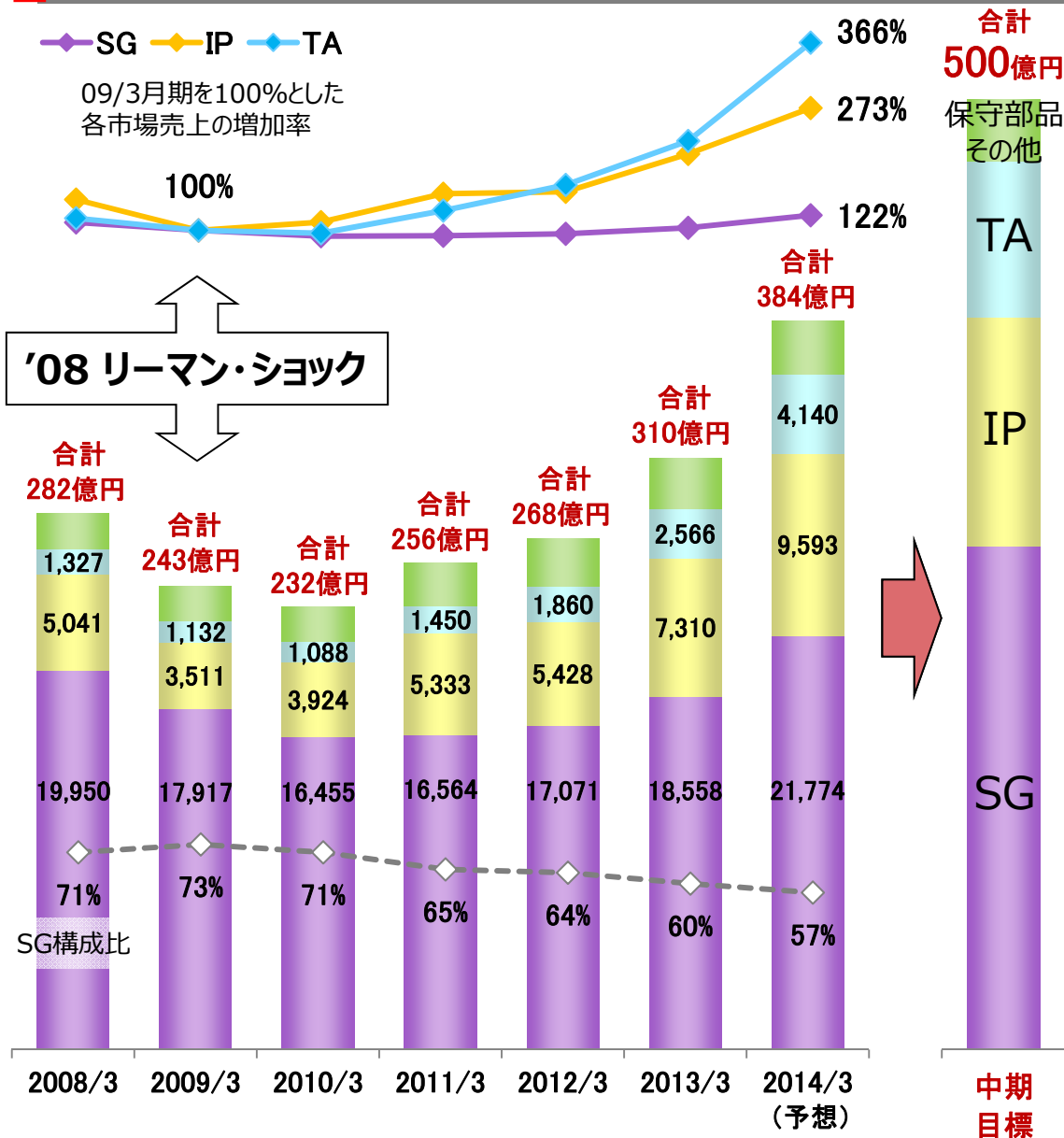
❖ ミマキエンジニアリングご紹介

❖ 第39期(14/3月期)3Qレビュー、
〃 連結業績予想

❖ 中期戦略

❖ ご参考資料

M500プロジェクト



■これまで

- SGが売上を牽引
- 先進国中心の事業展開

■環境変化

- SG市場の成熟
- 新興国経済の台頭
- ものづくり現場でのデジタルオンデマンド生産の広がり
- 市場&顧客ニーズの多様化

■これから

- ものづくり分野（IP、TA）への提案強化
- 全世界規模での事業展開（新興国市場への積極参入）

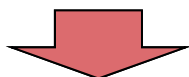
売上高 **500** 億円を目指す

“地域密着型営業”の推進

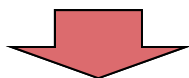
➤ 顧客ニーズを汲み上げるための日本国内での取り組み

担当地域を細かく分け、

- 営業マンが**地域に密着**し、自らの足でお客様をこまめに訪問
- 故障・トラブルなど、お客様の“困った”に迅速に対応

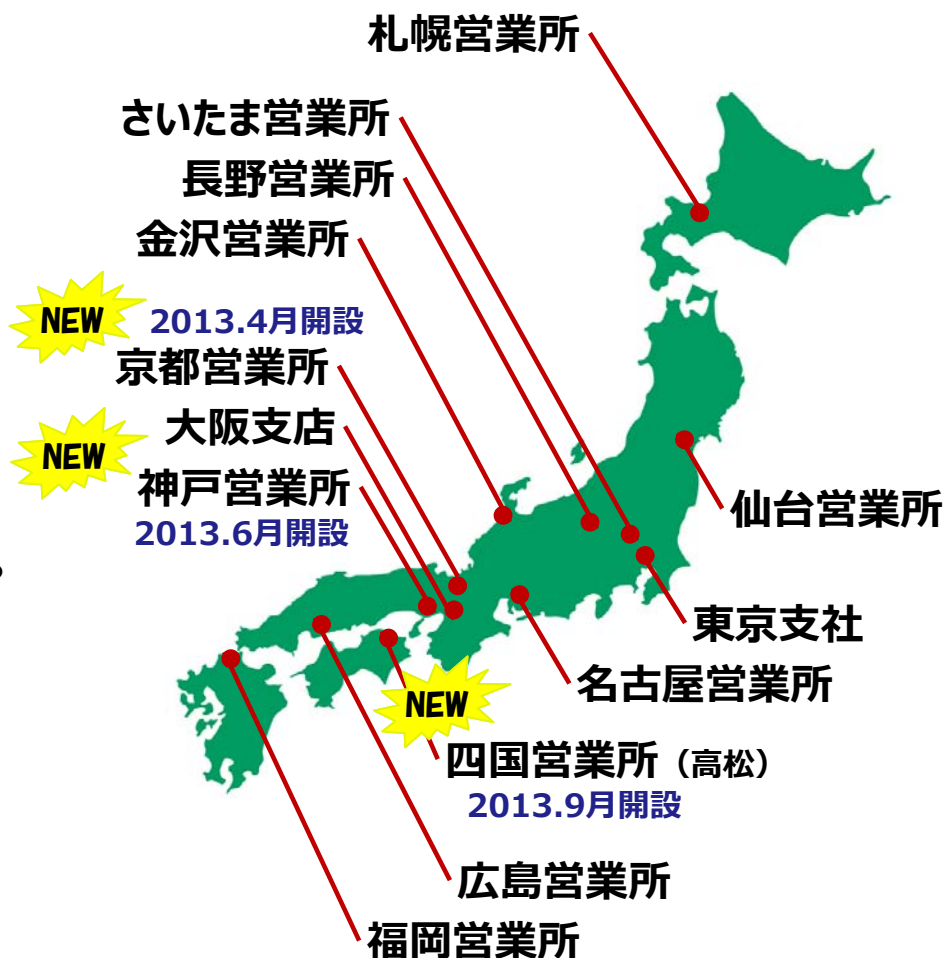


地道でアナログな方法だからこそ、
お客様との**強い信頼関係**が築ける。



お客様の**現場、現物、本音**から
得られる情報を基に、

- お客様へ新たな用途を提案
- 次なる新製品を開発企画



“地域密着型営業”の世界展開

Mimaki®

国内での取り組みを世界で



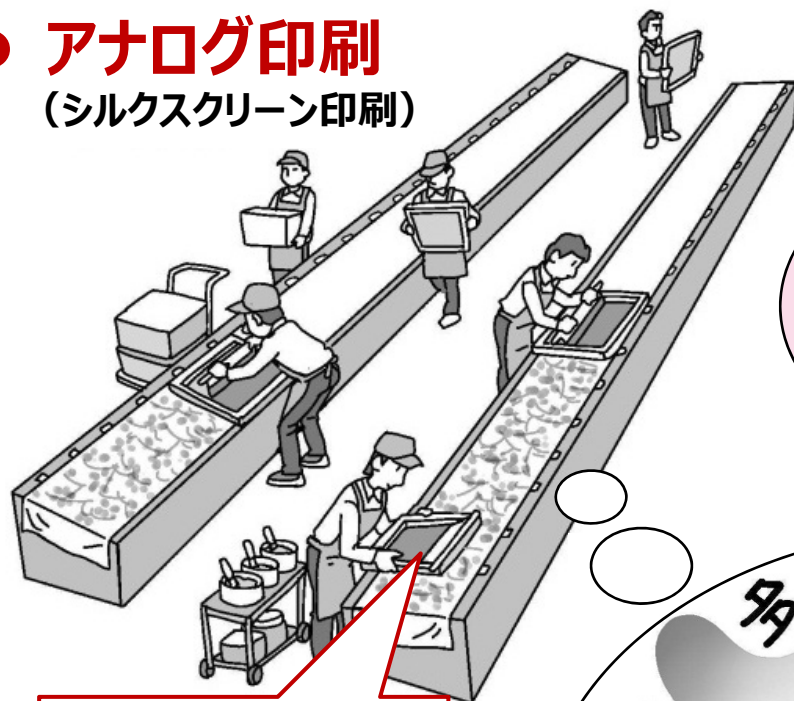
グローバル化とは、**地勢的な広がり**だけでなく**多様性の広がり**
国内での取り組みをグローバル展開し、多様性への対応を強化

デジタルオンデマンド生産の成長性

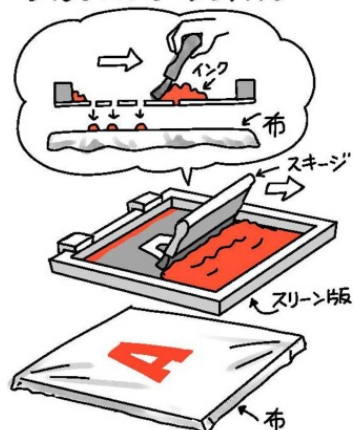
— 印刷におけるデジタル化のメリット —

ものづくり現場の変化

● アナログ印刷 (シルクスクリーン印刷)



シルクスクリーン印刷とは..



消費者ニーズ

- デザインの個性化
 - 流行サイクルの短期化
- ⇒ **ファストファッション**



多品種・小ロット

在庫
リスク

ニーズが
読めない!

小ロット

環境ニーズ

- 廃インク水質汚染
- 洗浄水使用量

デジタル印刷が伸びる理由

● デジタル印刷

✓ クイックレスポンス

注文数だけプリント
白モノ在庫を即日仕上げ
在庫リスク大幅低減

✓ 省スペース

消費地生産が可能

✓ 版レス

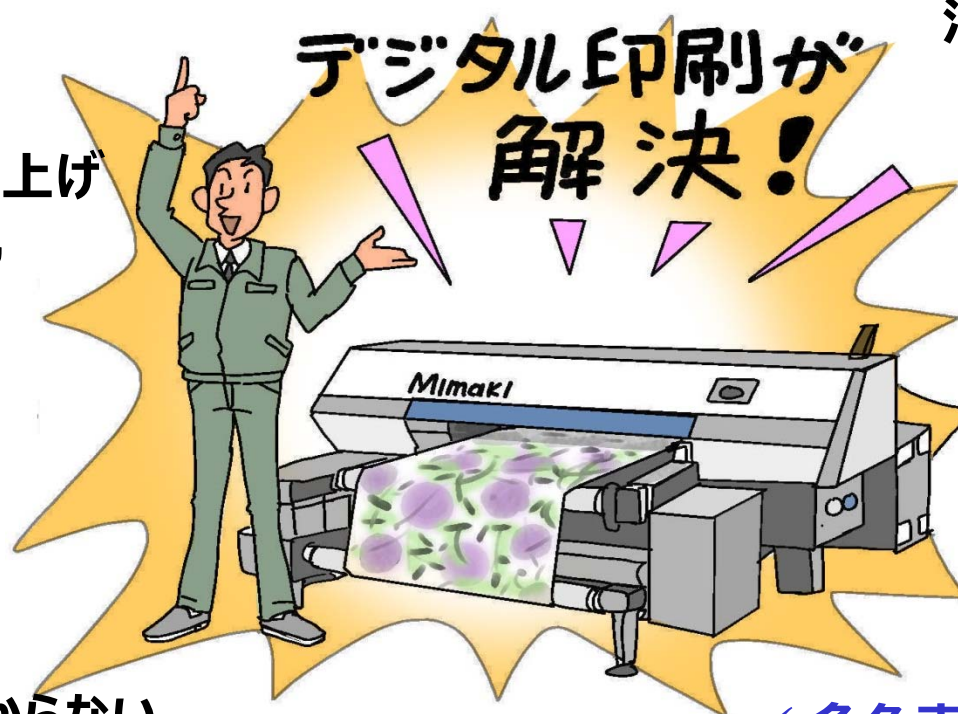
イニシャルコストかからない
小ロット対応

✓ エコロジー

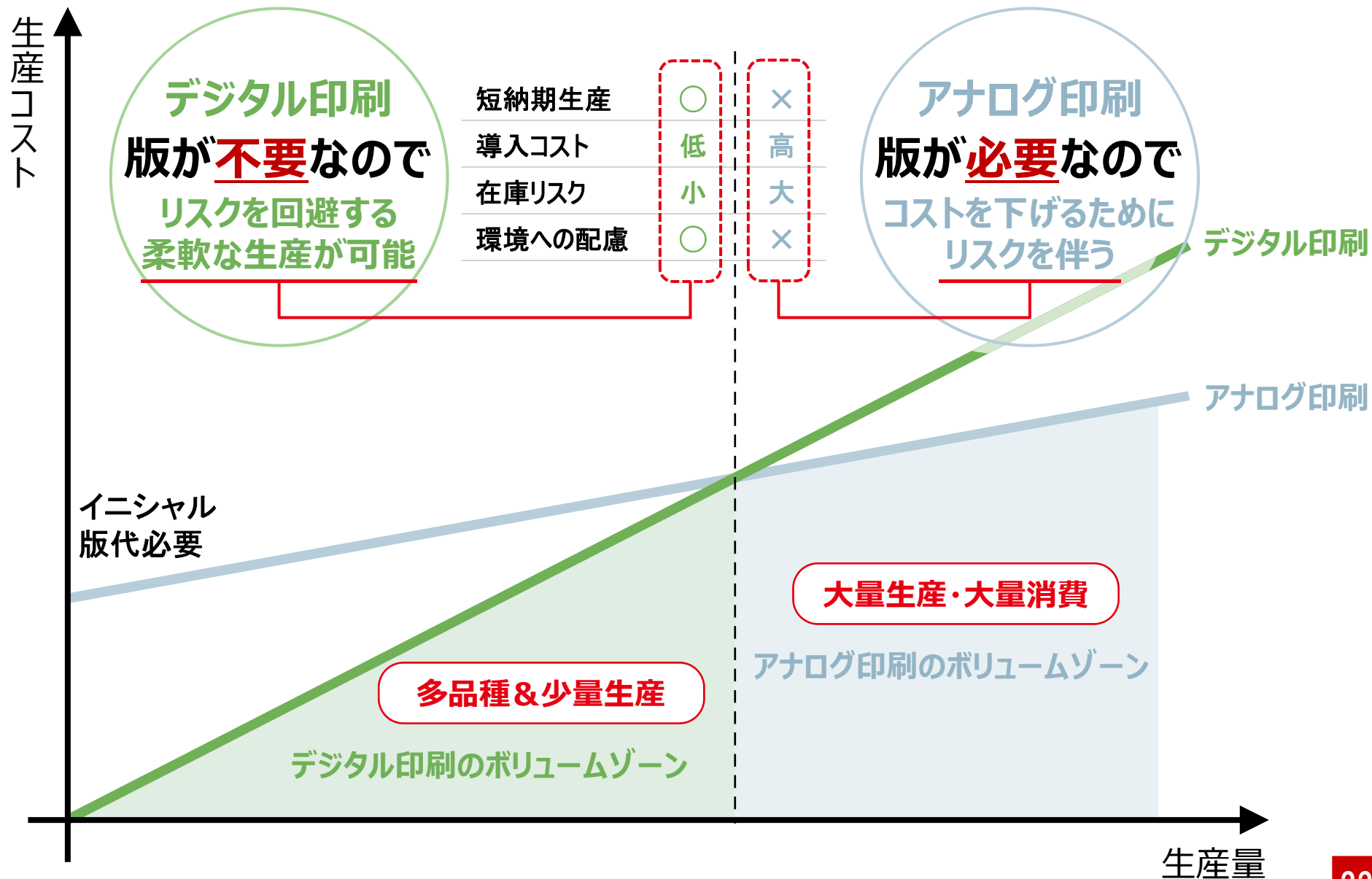
絵柄部分だけにインク吐出
版を洗う廃インクなし
省電力

✓ 多色表現

色数制限のない色彩表現



デジタル印刷とアナログ印刷の違い



紙以外の印刷市場は、規模は大きいもののデジタル化比率は低い

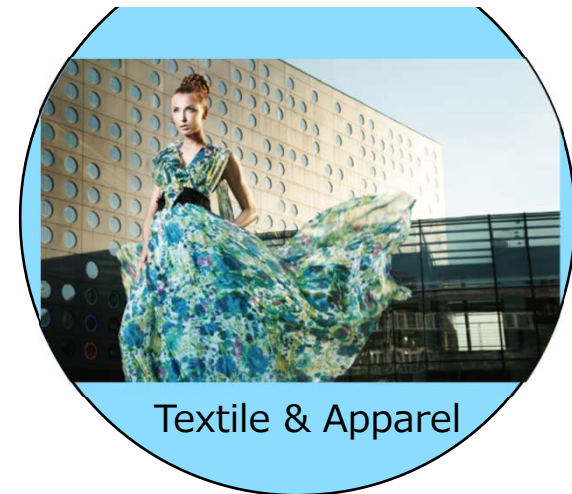
工業印刷市場



オーダーグッズ・ビジネス市場



ファスト・ファッション市場



市場の“伸びしろ”は大きく残されている！！

新たな開発分野への取り組み

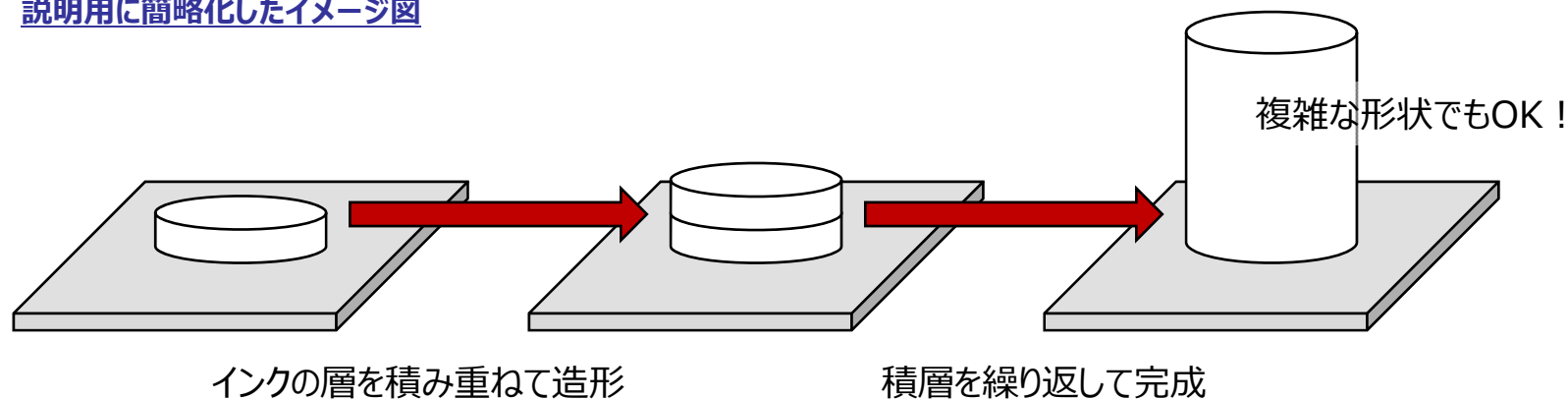
➤ 開発プロジェクト発足（2014年2月）

UV硬化インクジェット技術の開発成果として取得した特許を活かして、
インクジェット技術を造形用途に応用する3Dプリンタの開発に着手

➤ 保有特許について

UV硬化インクを用いてインクを積層し、所定形状の積層体を形成する3次元対象物形成装置および3次元対象物形成方法に関する発明

説明用に簡略化したイメージ図



発明の名称：3次元対象物形成装置及び3次元対象物形成方法（2009年12月 特許第4420685号）

❖ ミマキエンジニアリングご紹介

❖ 第39期(14/3月期)3Qレビュー、
〃 連結業績予想

❖ 中期戦略

❖ ご参考資料

主要製品のご紹介

Mimaki®

Sign Graphics (SG/サイングラフィックス)

Inkjet Printer

JV33シリーズ



広幅ソルベントインクジェットプリンタ

Industrial Product (IP/インダストリアルプロダクト)

UJF-3042FX/HG



フラットベッドLED-UVインクジェットプリンタ

Textile & Apparel (TA/テキスタイル&アパレル)

TS34-1800A



昇華転写インクジェットプリンタ

Cutting Plotter

CG-FXIIシリーズ



トンボセンサー付き広幅カッティングプロッタ

CF2シリーズ



フラットベッドカッティングプロッタ

APC-130



アパレル用型紙カッター

ソリューション提案の実例

■ MAL (Mimaki Application Lab.)

当社製品のユーザーだけでなく、他社製品ユーザーでもご参加いただけるワークショップ。

デジタルプリントの新技术や新機能インクでどのようなアプリケーション(活用方法)が実現できるのかを、実演、実体験を通じてご紹介しております。



➤ プロによる壁紙施工実演の様子 (2013年4月開催)



➤ 参考URL ;

<http://www.mimaki.co.jp/news/event/entry-150079.html>

■ Mimaki Plus

当社製品による成果物に一手間加工をプラスすることで生み出される新たな付加価値を、当社Webサイトでご紹介しております。



➤ デジタル時絵



➤ ドーミング加工



➤ 参考URL ;

http://www.mimaki.co.jp/special/mimaki_plus/

新拠点フォトギャラリー（国内）

Mimaki®

京都営業所

2013.4月開設



ショールーム

神戸営業所

2013.6月開設



ショールーム

四国営業所（高松）

2013.9月開設



ショールーム

大阪支店

2013.10月拡張移転



ショールーム

新拠点フォトギャラリー（海外）

Mimaki®

ミマキオーストラリア

2013.4月設立



ショールーム

ミマキシングポール

2013.4月設立



ショールーム

北京営業所（上海御牧）

2013.6月開設



ショールーム

イスタンブールテクニカルセンター

（ミマキEU） 2013.9月開設



ショールーム

新拠点フォトギャラリー（海外）

Mimaki®

ニュージャージー支店 (ミマキUSA)

2013.10月開設



ショールーム

テキサス支店 (ミマキUSA)

2013.10月開設

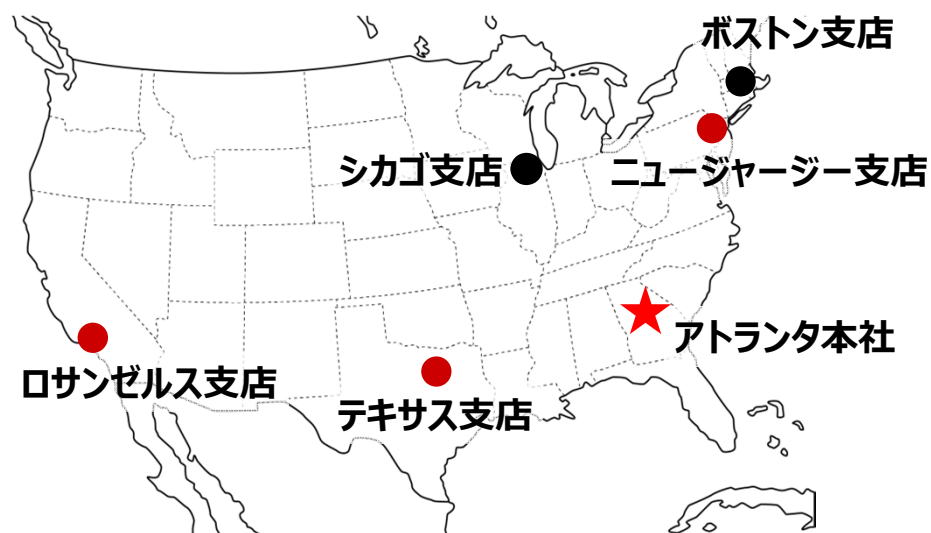


ロサンゼルス支店 (ミマキUSA)

2013.10月拡張移転



ショールーム



本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**
IR部

TEL 0268 (64) 2281
E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取り扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。